

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月1日 (2012.3.1)

【公表番号】特表2010-520219(P2010-520219A)

【公表日】平成22年6月10日 (2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2009-551855(P2009-551855)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 31/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月26日 (2011.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物性製品の衛生化方法であって：

動物の体の外層に、少なくとも 1 種の微生物を標的とするファージを適用すること；および、

該外層を動物の体の残りの部分から取ること、

を含む、上記方法。

【請求項 2】

前記適用が、前記ファージを含む乾燥組成物及び前記ファージを含む液体組成物のうちの少なくとも 1 つを該外層に適用することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記適用が、該外層にコーティングを実質的に浸透させることを含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記適用が、加圧下で前記ファージを該外層に適用することを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記適用が、該外層を動物の体の残りの部分から取る前に、又は該外層を動物の体の残りの部分から取った後に、前記ファージを動物の該外層に適用することを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記適用が、該外層を動物の体の残りの部分から取る間に、前記ファージを動物の該外層に適用することを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記適用が、該外層の外表面および内表面に前記ファージを適用することを含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記適用が、動物の体の残りの部分に前記ファージを適用することをさらに含む、請求

項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

該外層を洗淨することまたは衛生化することを含む、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

前記洗淨または衛生化が前記適用の前に行われるか、又は前記洗淨または衛生化が前記適用と同時に実行される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記洗淨または衛生化が、少なくとも 1 種の微生物が増殖するための少なくとも 1 つのリザーバーを該外層から除去することを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記適用が、該外層を保存する工程の一部として実行される、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】

前記適用が、該外層を保存する工程の少なくとも 1 つの条件に対して耐性を有するように選択されたファージを適用することを含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記適用が、溶菌性ファージ及び溶原性ファージのうちの少なくとも 1 つを適用することを含む、請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載の方法。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 14 のいずれかに記載の方法により製造された動物の体の外層。